

第140回 中小企業景況調査報告書(概要版)

平成26年4月～6月実施

平成26年7月～9月予測

福岡県商工会連合会

この調査は、中小企業の景気動向について、その実態と要因を四半期ごとに分析し、業種間の比較によって差異分析を行い、その分析結果に基づき、今後の経営活動の健全な発展を図るために業種別の景況情報を提供する。

1. 調査方法 商工会の経営指導員による訪問及び面接聞き取り調査
2. 調査時点 平成26年6月1日(日)
3. 調査対象時期 平成26年4月～6月
4. 調査対象企業 須恵町・筑紫野市・宗像市・大刀洗町・八女市・柳川市・水巻町・みやこ町・飯塚市・大任町の150企業
5. 回答企業 150企業(有効回答率100.0%)

製造業		建設業		小売業		サービス業	
企業数	構成比	企業数	構成比	企業数	構成比	企業数	構成比
30	20.0%	20	13.4%	41	27.3%	59	39.3%

☑ 県下産業全体(業況・売上額 D.I)

➡ 回復基調から一転、消費増税の影響により、全業種で悪化傾向

期間	製造業		建設業		小売業		サービス業	
平成25年 4月～6月		△57.1		0.0		△41.5		△19.6
平成25年 7月～9月		△13.8		0.0		△44.0		△12.1
平成25年 10月～12月		△41.4		△19.1		△46.3		△23.2
平成26年 1月～3月		△7.2		0.0		△29.2		△17.2
平成26年 4月～6月		△13.3		△15.0		△35.0		△23.8

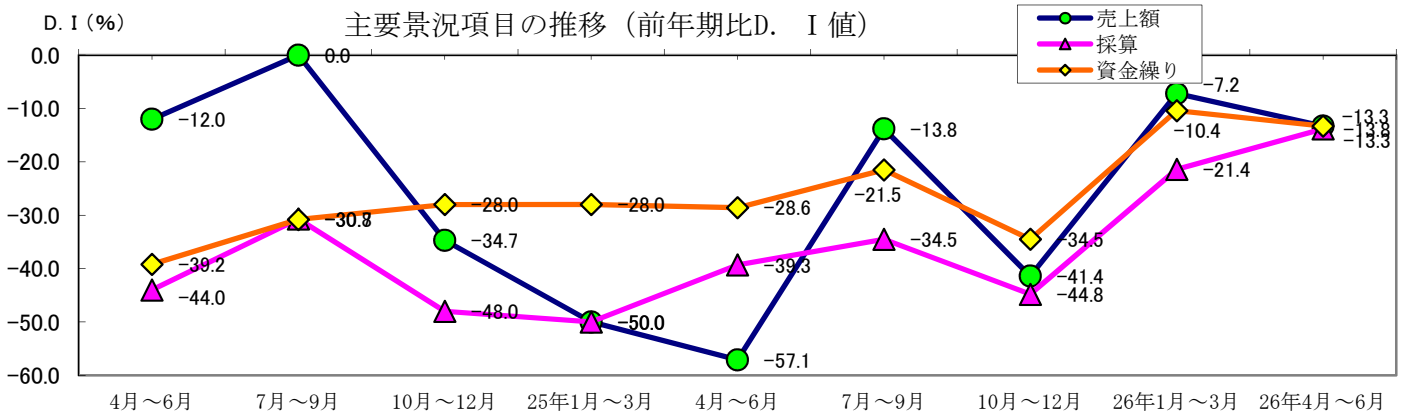
<天気図の見方>

D.I値	100.0～30.1	30.0～10.1	10.0～△10	△10.1～△30	△30.1～△100
表示	 【快晴】 +30.1 以上	 【晴れ】 +10.1 ～30.0	 【薄曇り】 △10.0 ～10.0	 【曇り】 △30.0 ～△10.0	 【雨】 △30.1 ～△100

県下産業全体の売上額D.I値は、前回調査から建設業での15.0ポイントの悪化をはじめ、全業種で悪化となっている。消費増税後の影響が考えられる。前年同期からは、製造業と小売業で改善、建設業、サービス業において悪化となっている。前年同期からの改善の要因は、製造業での43.8ポイントの大幅改善の影響が大きい。

製造業 (有効回答数 30 企業)

➡ **消費増税前の駆け込み需要の反動により受注が減少し徐々に悪化傾向にある製造業**



<調査企業が感じている景気判断コメント>

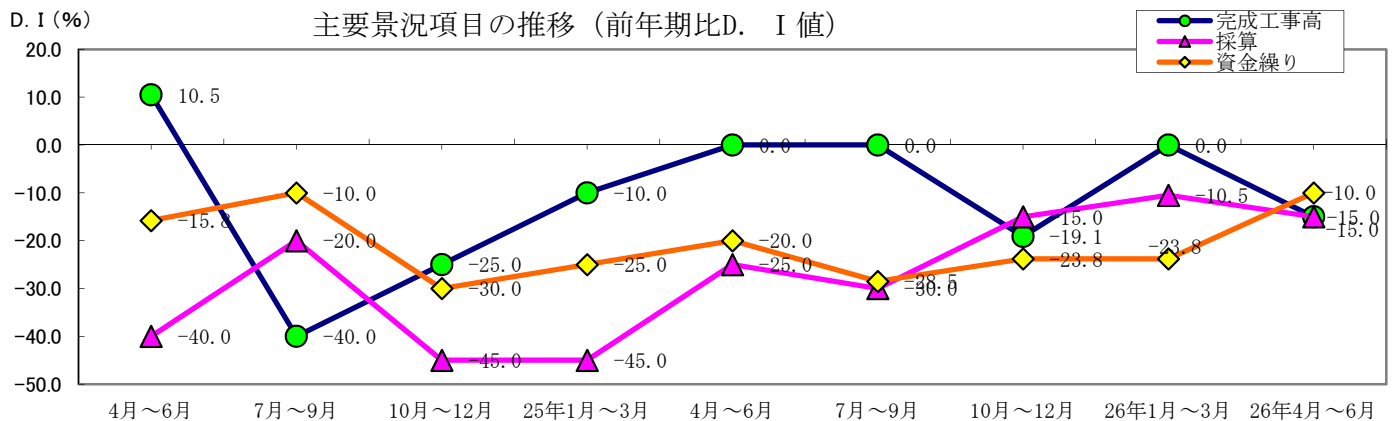
- ・消費増税による駆け込み需要のため、売上が前期と比較すると落ち込む形になったが、消費サイクルが長い商材でもないの、来期以降でまきかえしを図りたい。(しょう油・食用アミノ酸製造業)
- ・消費増税後の冷え込みがありましたが、商工会事業のおかげで仕事がありました。まだまだ冷え込みは夏すぎまでであるのではないかと感じます。業界全体が厳しい状況のようです。(オフセット印刷業)
- ・消費増税で3月、4月は上昇で5月は急に低下。道の駅も少しずつ売上げ低下。(農産保存食料品等製造業)

<経営上の問題点>

前期		今期	
第1位	生産設備の不足・老朽化 25.0%	第1位	需要の停滞 35.7%(+21.4)
第2位	原材料価格の上昇 21.4%	第2位	製品ニーズの変化 17.9%(+10.8)
第3位	製品単価の低下、上昇難 17.9%	第3位	生産設備の不足・老朽化 14.3%(-10.7)

建設業 (有効回答数 20 企業)

➡ **消費増税前の駆け込み需要の反動減は少ないもののコスト増に苦しむ建設業**



<調査企業が感じている景気判断コメント>

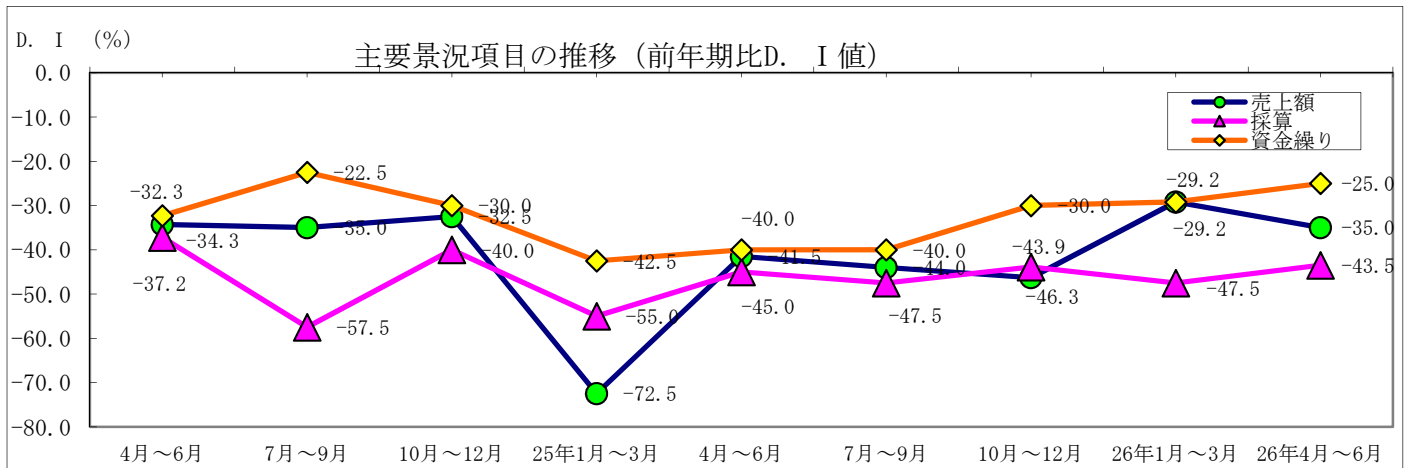
- ・新社員の業務習得を見ながら、管理工事を行っており、消費増税の影響も若干感じられる中で、例年の業務受注は、ほぼ横ばいで推移している。(造園工事業)
- ・消費増税後も受注はあるが、受注単価の値下げ競争が始めて来ている。(鉄骨工事業)
- ・現在のところ消費増税の影響はないが、今後の動向が心配。サイディング等一部に材料入手遅れのものもあり。人件費の高騰で利益を押し下げることが懸念。(木造建築工事業)

<経営上の問題点>

前期		今期	
第1位	材料価格の上昇 31.6%	第1位	材料価格の上昇 43.7%(+12.1)
第2位	請負単価の低下、上昇難 21.1%	第2位	請負単価の低下、上昇難 12.5%(-8.6)
第3位	熟練技術者の確保難 15.8%	第2位	民間需要の停滞・経費の増加 12.5%(+12.5)

小売業 (有効回答数 41 企業)

➡ **消費増税前の駆け込み需要の反動により売上が悪化した小売業**



<調査企業が感じている景気判断コメント>

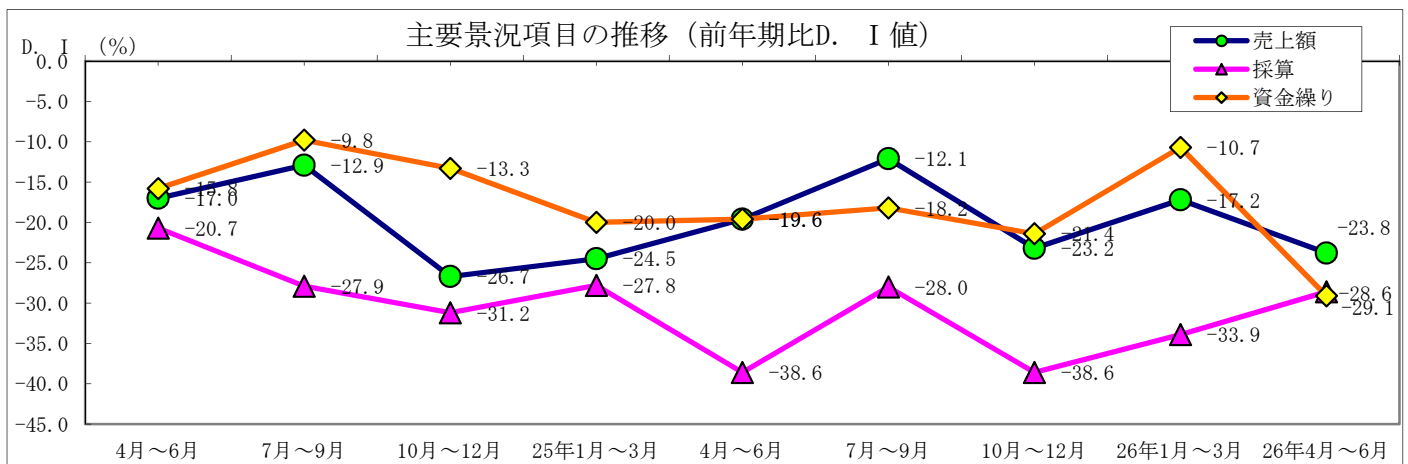
- ・消費増税に伴う購買欲の低下が痛切である。更なる増税が控えており心配している。(野菜小売業)
- ・消費増税の反動で売上が下がっている。(家電製品小売業)
- ・消費増税、移行、売上が減少しつつあります。田舎の奥に店があるため、もっと、もっと魅力ある品物を提供しなければと思っています。(菓子小売業)

<経営上の問題点>

前期		今期	
第1位	大型店・中型店進出による競争の激化 33.3%	第1位	大型店・中型店進出による競争の激化 33.3% (±0.0)
第2位	販売単価の低下、上昇難 15.4%	第2位	需要の停滞 12.8% (+10.2)
第3位	消費者ニーズの変化 12.8%	第3位	仕入単価の上昇 12.8% (+2.5)

サービス業 (有効回答数 59 企業)

➡ **消費増税による反動減により、業種によって明暗が分かれたサービス業**



<調査企業が感じている景気判断コメント>

- ・消費増税により、客数の低下が目立つ。10%に増税されると心配である。(酒場・ビアホール)
- ・消費増税を加算することにより、飲食店としてのマイナスイメージが厳しいです。(その他の専門料理店)
- ・車検、整備の入庫は増税前とあまり変わらないが、車販売は増税前に駆け込みした方が多く、4～5月の注文が落ち込んでいる。(自動車一般整備業)
- ・増税のため、客数が減少するかと予想していたが、実際はそれほど減少しなかった。(理容業)

<経営上の問題点>

前期		今期	
第1位	需要の停滞 18.4%	第1位	需要の停滞 17.3% (-1.1)
第1位	利用者ニーズの変化 18.4%	第1位	新規参入業者の増加 13.5% (+5.3)
第3位	店舗施設の狭隘・老朽化 14.3%	第3位	従業員の確保難 13.5% (+3.3)

